

平成 2 9 年 度

主 要 施 策 の 成 果

那 珂 川 町

平成29年度主要施策の成果（一般会計）

議会費関係

1 議会開催日数

○定例会	4回	会期日数	31日
○臨時会	1回	会期日数	1日

2 付議事件数

○町長提出	109件				
◇条例	28件	◇予算	25件	◇決算	9件
◇その他	40件	◇専決、報告	7件		
○議員提出	33件				
◇条例	2件	◇報告	22件	◇その他	9件

3 請願・陳情

○受付件数	11件
○意見書提出	2件

4 一般質問の人数

6月	5人	9月	5人	
12月	4人	3月	4人	計18人

5 委員会等の活動

区分 委員会名	会議	行政視察	所管事務調査 ・研修会	意見交換会 ・懇談会
議会運営委員会	7回	—	—	—
総務企画常任委員会	5回	1回	1回	1回
教育民生常任委員会	11回	1回	1回	1回
産業建設常任委員会	6回	1回	1回	1回
議会広報特別委員会	13回	1回	—	1回
議会改革特別委員会	7回	—	—	—

6 議会報告会

4 会場

25 名出席

平成29年11月14日～23日

7 議員派遣

○議員研修

◇町村議会議員研修会(宇都宮市)

平成29年11月17日

○行政調査

◇秋田県美郷町

平成29年6月21日～22日

総務費関係

1 人事関係(一般職員)

(1)職員数の状況

	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在
一般職	190人	187人
技能労務職	3人	2人
計	193人	189人

(注)年度末退職者を除いた人数

(2)新規採用及び退職数の状況

	新規採用者	退職者
一般職	14人	17人
技能労務職	—	1人
計	14人	18人

2 那珂川町自治功労者等表彰

平成29年10月14日 小川総合福祉センターあじさいホール

○自治功労者等表彰

◇自治功労者表彰 33名

◇特別功労者表彰 3名

◇高額寄付者感謝状贈呈 1名

3 町有財産管理事業

東日本大震災以降進めてきた、新庁舎整備が完了し、平成29年10月より運用を開始した。

庁舎維持管理は、旧庁舎の解体までの間は維持管理費用が増加することから、特に経費の節減に取り組んだ。

町有財産管理では、公共施設等総合管理計画に基づき、町有施設が適正配置されるよう、また有効利活用が図られるよう事業を実施した。

新庁舎整備事業は、本体工事が前年度末に完了したことから、全面供用開始に向けて事業を推進させた。

○町有財産管理

◇旧本庁舎及び倉庫解体工事設計業務委託	1, 944千円
◇小川庁舎及び倉庫解体工事設計業務委託	2, 052千円
◇小川総合福祉センター事務室改修工事設計業務委託	1, 188千円

○新庁舎整備事業

◇山村開発センター第二期解体工事（繰越）	17, 560千円
◇新庁舎外構工事	39, 636千円
◇新庁舎（付帯設備）設置・移設工事	5, 940千円
◇新庁舎（遮熱フィルム）設置工事	2, 430千円
◇那珂川町防災行政無線（移動系）機器移設工事	4, 169千円
◇栃木県防災行政無線半固定型無線装置移設工事	2, 297千円
◇那珂川町 J-ALERT・連携システム移設工事	2, 290千円
◇栃木県震度情報ネットワークシステム移設工事	2, 052千円
◇那珂川町防災情報配信システム端末装置移設工事	512千円
◇栃木県防災気象表示端末移設工事	432千円
◇町有林素材調達生産業務委託	3, 476千円
◇新庁舎竣工記念式典企画運營業務委託	2, 149千円
◇新庁舎竣工記念式典記念品購入	1, 153千円
◇新庁舎竣工記念式典パンフレット印刷製本	121千円
◇新庁舎用備品購入（液晶テレビ 他）	1, 299千円

○新庁舎開庁関係

◇新庁舎竣工記念式典（平成29年 9月23日）	
◇新庁舎開庁式（平成29年10月10日）	全面供用開始
◇小川出張所開設（平成29年10月10日）	同日業務開始

4 防犯・交通安全対策

犯罪、交通事故のない町を目指し、身近な犯罪防止啓発活動の推進、交通安全教育の実施及び交通安全施設等の整備に努めた。

(1)交通安全対策

○「那珂川町交通事故抑止対策町民の集い」の開催

平成29年8月30日 小川総合福祉センター

(2)交通指導員の設置

○教育指導員 1名

○一般指導員 6名

(3)交通安全教育の実施

○幼稚園・保育園児童対象 32回 2,563人

○小中学校児童生徒対象 27回 1,076人

○母親対象 5回 215人

○高齢者対象 33回 646人

(4)交通安全施設の整備

○道路反射鏡 2基

○区画線 600m

5 地域公共交通対策

住民の交通の利便及び生活と福祉の向上を図るため、デマンドタクシーの実証運行及びコミュニティバス「馬頭烏山線」を運行した。

(1)デマンドタクシー「なかちゃん号」利用実績

平成29年度	利用者計 (月/人)	運行日数 (日)	1日あたり (人/日)	備考
4月	1,149	20	57.5	
5月	1,250	20	62.5	
6月	1,342	22	61.0	
7月	1,285	20	64.3	
8月	1,280	22	58.2	
9月	1,245	20	62.3	
10月	1,241	21	59.1	
11月	1,226	20	61.3	
12月	1,234	20	61.7	
1月	1,008	19	53.1	
2月	1,001	19	52.7	
3月	1,128	21	53.7	
計	14,389	244	59.0	

☆デマンド交通利用登録者数（平成30年3月31日現在）3,164人

(2) コミュニティバス「馬頭烏山線」の利用実績

○乗車人数 35,855人

○運行日数 361日

(3) 那珂川町地域公共交通会議

書面会議（2回）

6 企画調整・地域振興

(1) 会議等の開催

町の重要施策の審議及び事務事業の総合的な調整を図るため、庁議を8回開催した。

(2) 総合振興計画の進行管理

まちづくりの基本指針となる第2次那珂川町総合振興計画前期基本計画の「まちづくりの3大重点プロジェクト」として位置付けている重点事務事業など、各種事業の進行管理を行った。

(3) まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理

那珂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を開催し、戦略事業の評価検証を行い、PDCAサイクルに基づいて、事業改善計画策定と併せて進行管理を行った。

(4) 過疎地域自立促進計画の進行管理

過疎地域自立促進計画の重点事務事業など、各種事業の進行管理を行った。

(5) 第3次行財政改革推進計画の進行管理

第3次行政財政改革推進計画の進行管理を行った。

(6) 情報システムの総合管理

マイナンバー情報連携の開始に伴い、庁内システムを利用した総合運用テストを実施した。また、那珂川町役場の新庁舎移転に伴い、情報システムの基幹機器等の移設業務を実施した。

(7) 産学官連携の取組み

大学等との相互友好協力協定・相互協力協定に基づき、次の事業を行った。

○学校法人宇都宮美術学院宇都宮メディア・アート専門学校

◇新商品デザイン事業

◇八溝ししまるケーブルテレビ用CM制作事業（冬バージョン）

◇広報なかがわ4コマ漫画制作

○国立大学法人宇都宮大学

◇町内事業者ロゴマーク等の製作

◇林業体験ツアー事業

○学校法人帝京大学経済学部地域経済学科

◇那珂川町ドキュメンタリー映像作成

○学校法人国士舘大学

◇史跡調査

○栃木県立馬頭高等学校

◇栃木県立馬頭高等学校と包括連携協定を締結した。

◇なかがわ学事業

(8) 土地利用調整

「第2次那珂川町土地利用調整基本計画」に基づき、適正な土地利用へ誘導を行った。

(9) 那珂川町地域振興実践活動事業

“なかがわ元気フェスタ2017”の実施等を「なかがわ元気プロジェクト連絡協議会」に委託した。 4,702千円

(10) 「日本で最も美しい村」連合加盟運営費等補助金

小砂Village協議会に対して補助金を交付した。 400千円

(11) 地域おこし協力隊事業

7名（うち1名は平成29年9月30日付任期満了に伴い退任）を地域おこし協力隊員に委嘱し、自らの創意工夫により地域おこし活動を実施した。

24,022千円

(12) 移住定住促進事業

町内への移住定住を促進するために、次の事業を行った。

○地域資源情報バンクサイト管理運営事業 257千円

空き家及び空地情報の登録及び紹介 契約件数 3件

○那珂川町空き家改修費補助金 2件 302千円

7 広報・広聴

(1) 広報の発行

町行政と住民を結ぶパイプ役として広報なかがわを毎月発行し、町の事務事業等について周知を図るとともに、行政に対する関心を高めるよう努めた。

○広報なかがわ(毎月10日発行) 5,700部/月

(2) 町勢要覧の発行

テーマとして「誇り」を掲げ、新庁舎落成、町出身及び町ゆかりの著名人の紹介や町内で様々な分野に挑戦している方のインタビューを通して那珂川町が持つ魅力を伝え、まちづくりへの取り組みを町内外へ伝える町勢要覧を発行した。

○NAKAGAWA PRIDE 那珂川町町勢要覧2018 6,500部発行

(3) 那珂川町公式ホームページの運営

「くらしの情報」、「観光情報」、「生涯学習」、「町のデータ」などの柱をメインに町内外への積極的な情報発信を行うため、那珂川町公式ホームページの管理運営を行った。

(4) 統計調査

国・県の指定統計として次の調査を実施した。

○学校基本調査

毎年5月1日を基準日として、町内の各小中学校、幼保連携型認定こども園の設置状況（児童生徒数、教諭の配置状況など）を調査した。

○工業統計調査

6月1日を基準日として、町内38調査区の製造業の事業所（99事業所中、従業員数4人以上の47事業所を対象）の従業者数、製造品種、出荷額などの状況を調査した。

○就業構造基本調査

10月1日を基準日として5年ごとに実施、選定された7調査区に住む15歳以上の人の就業・不就業の実態を調査した。

○住宅・土地統計調査（単位区設定）

平成30年10月1日を基準日として実施される住宅・土地統計調査に先立ち、単位区を設定した。

(5) 行政事務連絡等

行政区長・班長を委嘱し、事務執行の協力を得た。

○行政区長 37人

○行政班長 193人

(6) 情報公開等

○情報公開の運用状況

実施機関	請求件数	公開	一部公開	非公開
町 長	12	11	1	0
教育委員会	2	2	0	0
農業委員会	1	0	1	0
議 会	1	1	0	0

○個人情報保護の運用状況

実施機関	請求件数	公開	一部公開	非公開
町 長	1	1	0	0

8 都市交流

(1) 姉妹都市：アメリカ合衆国ホースヘッズ村

○ホースヘッズ村訪問団交流事業 平成29年 7月10日～19日 9名
(町内の施設見学や文化交流等)

○青少年海外体験学習派遣事業 平成30年 3月9日～20日 15名

(2) 観光交流都市：東京都豊島区のイベントに参加

○池袋フォーク&カントリーフェスティバル2017 平成29年 6月 3日～ 4日 2名

○東京フラフェスタin池袋 平成29年 7月21日～23日 3名

○豊島区ふくろ祭り 平成29年10月 7日～ 8日 4名

(3) 友好都市：秋田県美郷町

○教職員交流事業 平成29年 8月29日～30日 8名

○ブランド認定関係視察 平成29年12月19日～20日 3名

(4) 姉妹都市：滋賀県愛荘町

○愛荘66かまど祭 平成29年10月28日～29日 2名

9 税務

(1) 町税等収入状況

○町税

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
町 民 税	899,214,506	858,638,999	1,346,990	39,228,517	95.49
(1)個 人	671,511,206	631,676,199	1,346,990	38,488,017	94.07
現 年 課 税 分	631,671,700	621,788,145	0	9,883,555	98.44
滞 納 繰 越 分	39,839,506	9,888,054	1,346,990	28,604,462	24.82
(2)法 人	227,703,300	226,962,800	0	740,500	99.67
現 年 課 税 分	227,203,100	226,763,000	0	440,100	99.81
滞 納 繰 越 分	500,200	199,800	0	300,400	39.94
固 定 資 産 税	1,204,115,339	1,083,219,925	4,221,268	116,674,146	89.96
(1)固定資産税	1,195,672,039	1,074,776,625	4,221,268	116,674,146	89.89
現 年 課 税 分	1,086,326,100	1,060,174,850	267,300	25,883,950	97.59
滞 納 繰 越 分	109,345,939	14,601,775	3,953,968	90,790,196	13.35
(2)交付金	8,443,300	8,443,300	0	0	100.00
軽自動車税	63,037,988	57,615,134	220,100	5,202,754	91.40
現 年 課 税 分	58,775,400	56,743,560	0	2,031,840	96.54
滞 納 繰 越 分	4,262,588	871,574	220,100	3,170,914	20.45

町たばこ税	111,470,607	111,470,607	0	0	100.00
特別土地保有税	5,014,000	0	5,014,000	0	0.00
現年課税分	0	0	0	0	0.00
滞納繰越分	5,014,000	0	5,014,000	0	0.00
入湯税	17,641,170	17,052,070	0	589,100	96.66
現年課税分	17,357,870	17,052,070	0	305,800	98.24
滞納繰越分	283,300	0	0	283,300	0.00
町税合計	2,300,493,610	2,127,996,735	10,802,358	161,694,517	92.50
うち現年課税分	2,141,248,077	2,102,435,532	267,300	38,545,245	98.19
うち滞納繰越分	159,245,533	25,561,203	10,535,058	123,149,272	16.05

○国民健康保険税

(単位：円，%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
国民健康保険税	653,432,940	498,954,806	6,210,655	148,267,479	76.36
(1)一般被保険者	641,094,257	492,035,541	5,911,425	143,147,291	76.75
医療給付費 現年課税分	354,017,416	328,922,207	0	25,095,209	92.91
後期高齢者支援金 現年課税分	99,884,364	93,621,877	0	6,262,487	93.73
介護納付金 現年課税分	38,052,382	34,684,673	0	3,367,709	91.15
医療給付費 滞納繰越分	107,476,679	24,710,653	4,321,210	78,444,816	22.99
後期高齢者支援金 滞納繰越分	26,617,032	6,628,602	926,781	19,061,649	24.90
介護納付金 滞納繰越分	15,046,384	3,467,529	663,434	10,915,421	23.05
(2)退職被保険者	12,338,683	6,919,265	299,230	5,120,188	56.08
医療給付費 現年課税分	3,980,484	3,911,986	0	68,498	98.28
後期高齢者支援金 現年課税分	1,107,636	1,087,313	0	20,323	98.17
介護納付金 現年課税分	984,518	933,172	0	51,346	94.78
医療給付費 滞納繰越分	4,288,600	662,191	213,874	3,412,535	15.44
後期高齢者支援金 滞納繰越分	1,102,508	179,799	49,867	872,842	16.31
介護納付金 滞納繰越分	874,937	144,804	35,489	694,644	16.55

○介護保険料

(単位：円，%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
介護保険料	369,730,900	361,855,500	952,480	6,922,920	97.87
現年課税分	363,051,260	360,330,180	0	2,721,080	99.25
(1)特別徴収	336,252,820	336,581,660	0	△328,840	100.10
(2)普通徴収	26,798,440	23,748,520	0	3,049,920	88.62
滞納繰越分	6,679,640	1,525,320	952,480	4,201,840	22.84

○後期高齢者医療保険料

(単位：円，%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
後期高齢者医療保険料	119,034,600	118,102,500	23,900	908,200	99.22
現 年 課 税 分	118,299,800	117,553,700	0	746,100	99.37
(1)特別徴収	92,882,700	93,122,400	0	△239,700	100.26
(2)普通徴収	25,417,100	24,431,300	0	985,800	96.12
滞 納 繰 越 分	734,800	548,800	23,900	162,100	74.69

(2)徴収嘱託員収納実績

- 徴収嘱託員 1 人
- 収 納 額 35,399,343 円

(3)税務関係証明等

- 件 数 3,997 件
- 手数料 1,070,920 円

(4)消費税及び地方消費税の引上げ分に伴う社会保障財源交付金の使途について

- 歳入
 - ◇交付金 132,336,000 円
- 歳出
 - ◇障害者福祉費 55,144,000 円
 - ◇老人福祉費 20,336,000 円
 - ◇児童措置費 16,841,000 円
 - ◇母子福祉費 11,329,000 円
 - ◇予防費 18,888,000 円
 - ◇健康増進費 9,798,000 円

10 戸籍・住民

住民の動向を記録する住民基本台帳について、転入・転出等の各種届出の正確且つ迅速な処理を行い、住民票や印鑑証明等の証明発行事務のスピードアップに努めた。戸籍・住民票等の件数については次のとおりである。

- 戸籍届出等件数 1,063 件 (届出613件・送付450件)

主なものは、出生・死亡・婚姻・離婚・入籍届出等である。

- 証明等発行件数
 - 戸籍関係 8,832 件
 - 住 民 票 8,895 件
 - 印鑑証明等 7,862 件

○社会福祉協議会への支援		
◇社会福祉協議会運営費補助金		36,039千円
○災害見舞金		
◇火事2件		150千円
○臨時福祉給付金	3,009人	45,135千円

2 障害者福祉

障害者の自立更生を推進するため、身体障害者巡回診査更生相談、障害福祉サービス(介護、訓練等給付)事業、地域生活支援事業による支援、重度心身障害者への医療費助成、特定疾患患者への見舞金の給付及び補装具の給付を積極的に実施した。

○補装具給付及び修理	24件	1,535千円
○自立支援(更生)医療	30人	22,015千円
○重度心身障害者医療費助成	262人	26,315千円
○特定疾患患者見舞金	149人	4,839千円
○障害者福祉サービス事業	205人	349,494千円
○障害者地域生活支援事業	210人	46,484千円

3 高齢福祉

高齢者の生きがいづくり及び要援護老人対策として次の事業を実施した。

○敬老会	21会場・1,104人	6,777千円
○敬老祝金 (80、85、90、95歳)	554人	4,555千円
(100歳)	3人	300千円
○緊急通報システム装置の貸付(H30.3.31現在)	73件	3,164千円
○軽度生活援助事業	15人	632千円
○老人福祉施設入所措置(H30.3.31現在)	養護13人	36,305千円
○馬頭総合福祉センター管理運営	利用者15,714人	18,193千円
○小川総合福祉センター管理運営	利用者29,536人	23,966千円
○シルバー人材センター運営補助		7,100千円
○老人クラブ等社会活動推進事業(補助金)		2,400千円

4 国民年金

公的年金(国民年金)の必要性を十分に周知させるため、「広報なかがわ」への掲載等により普及推進を図った。

○国民年金被保険者数	2,652人
	(1号:1,995人 3号:647人 任意加入10人)

5 児童福祉

子育てを行っている家庭を支援し、児童の健全育成を図るため、次の事業を実施した。

○認定こども園の運営 149,049千円

園児数内訳

(平成30年3月現在 単位：人)

認定こども園 \ クラス年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
なかのこ認定こども園	3	10	19	20	17	32	101
ひばり認定こども園	3	13	6	26	28	24	100
わかあゆ認定こども園	11	16	19	26	40	53	165
合計 (うち町外児童)	17 (1)	39 (1)	44	72 (2)	85 (2)	109 (2)	366 (8)
町外保育園等	1	5	2	1	3	2	14

○施設型給付費・地域型保育給付費 12,663千円

○児童手当の支給

区分	支給月額(円)	延べ児童数(人)	支給金額(千円)
3歳未満	15,000	2,443	36,645
小学校修了前(第1子・第2子)	10,000	8,858	88,580
小学校修了前(第3子以降)	15,000	1,643	24,645
中学校修了前	10,000	3,978	39,780
特例給付	5,000	293	1,465
合計		17,215	191,115

○遺児手当の支給 児童3人 42千円

○放課後児童クラブの運営 19,546千円

入所児童数内訳

(平成30年3月現在 単位：人)

クラブ \ 小学校	馬頭小	馬頭東小	小川小	計
馬頭放課後児童クラブ	38人	4人	—	42人
小川放課後児童クラブ	—	—	31人	31人
合計	38人	4人	31人	73人

○子育て支援センターの運営

4, 332千円

利用者数内訳

センター	利用者	保護者	子ども	計
子育て支援センターひばり		556人	644人	1,200人
子育て支援センターわかあゆ		981人	1,149人	2,130人
計		1,537人	1,793人	3,330人

○子育て短期支援事業 延べ102日 571千円

○病児保育事業 延べ9人 688千円

○幼稚園就園奨励費補助金 1件 62千円

○結婚新生活支援補助金 1件 240千円

○子ども・子育て会議 1回

○児童虐待防止対策

◇要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回

実務担当者会議 11回

個別ケース検討会議 12回

◇児童虐待防止研修 ひばり認定こども園（保護者・園児・職員各1回）

◇児童虐待対応職員研修 認定こども園職員対象 1回

○医療費助成事業

事業名	対象人数(人)	助成人数(人)	助成件数(件)	助成額(千円)
こども医療費助成	1,775	1,600	20,433	38,154
妊産婦医療費助成	112	52	379	1,544
ひとり親家庭医療費助成	438	111	1,803	3,124
養育医療費助成	1	1	7	830
育成医療費助成	2	2	6	158

衛生費関係

1 保健予防

人生80年時代を迎え、町民の健康問題は最重要課題であり、「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と、町民の健康水準の向上を図るため、健康づくり及び疾病予防対策事業を実施した。

(1)健康づくり推進事業

ライフスタイルの多様化に伴い増加している生活習慣病を予防改善するために、栄養・食生活、運動・身体活動の見直しや習慣化について実践できるよう支援した。

○メンバーズらくらく倶楽部	31回	366人
○食生活改善推進員協議会	14回	353人
○その他		
◇「広報なかがわ」による啓発活動		12回
◇「福祉まつり」での普及及び啓発活動（減塩食）	1回	120人

(2)生活習慣病予防対策事業

青壮年期からの生活習慣病予防と疾病の早期発見、早期治療を目的に、健康増進法に基づき、総合的な保健事業を実施した。

また、国の施策である「がん検診推進事業」及び「新たなステージに入ったがん検診総合支援事業」により、特定の年齢のがん検診の自己負担金を無料とし、受診率の向上を図った。

○病態別栄養相談（電話も含む）	32回	55人
○訪問指導		7人
○基本健康診査(20～39歳)	26回	314人
○胃がん検診（20歳～）	26回	1,277人
○子宮がん検診(集団検診)（20歳～）	15回	1,190人
(うち、がん検診推進事業受診者1人)		
○子宮がん検診(個別検診)	6～2月	2人
(がん検診推進事業)		
○乳がん検診（20歳～）	15回	1,648人
(うち、がん検診推進事業受診者25人)		
○乳がん検診(個別検診)	1回	2人
(がん検診推進事業)		
○大腸がん検診（20歳～）	28回	2,421人
○肺がん検診（20歳～）	26回	2,474人
○前立腺がん検診	15回	891人
○肝炎ウィルス検診	26回	219人
○骨粗しょう症検診	15回	221人
○歯周疾患検診	7～9月	60人
○精神保健相談会	12回	40人
○ゲートキーパー養成講座	2回	58人
○運動普及指導員講習会	2回	16人

○生活習慣病予防教室「なかがわフィットネス倶楽部」

1 2 回

1 3 4 人

(3) 母子保健対策事業

母子の一貫した健康管理を目指し、母子保健法に基づく健康教育・相談及び各種健診を実施した。また、成長過程におけるさまざまな発達課題に対して、関係機関と連携をとりながら、児の健やかな成長を促すことを目的とした発達障害児支援事業を実施した。

○乳児訪問（こんにちは赤ちゃん事業）		7 4 人
○母子健康手帳の交付		5 5 人
○育児パッケージ贈呈事業		6 7 人
○乳児健診（4か月・8か月）	1 2 回	1 3 6 人
○1歳児相談	6 回	6 2 人
○1歳6か月児健診	6 回	7 1 人
○2歳児相談	6 回	9 5 人
○3歳児健診	6 回	7 9 人
○虫歯予防教室（フッ素塗布）	6 回	4 1 9 人
○年長児歯科巡回相談	3 回	1 0 9 人
○妊婦一般健康診査助成		7 7 4 回
○産婦健診		7 6 回
○産後ケア		1 人
○きらきらベビークラス	1 2 回	3 5 6 人
○産後サロン	1 2 回	1 7 2 人
○マタニティクラス	1 1 回	2 2 人
○子ども栄養相談	2 回	8 人
○小児生活習慣病予防教室（中学校）	2 回	9 0 人
○のびのび発達相談	6 回	1 9 7 人
○乳幼児発達相談	1 4 回	7 4 人
○ひまわり教室（早期療育教室・年長児）	1 1 回	2 6 6 人
○さくらんぼ教室（　〃　・2歳児）	1 0 回	1 5 8 人
○かるがも教室（　〃　・3歳児）	1 1 回	1 3 4 人
○子育て支援講演会	1 回	7 4 人
○ベビープログラム	1 2 回	6 4 人
○思春期教室（小学校4校・中学校2校）	7 回	2 2 3 人
○母子保健推進員研修会	1 回	1 4 人
○不妊治療費助成事業		1 2 件

(4) 感染症予防対策事業

結核及び各種感染症の発症予防のため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施した。また、高齢者の肺炎罹患による重篤化を予防するための肺炎球菌ワクチン、及び妊婦の風しん罹患による先天性風しん症候群を予防するための風しんワクチンの接種費用を助成した。

○定期予防接種	◇BCG	64回
	◇不活化ポリオ	8回
	◇麻しん・風しん混合	170回
	◇二種混合	114回
	◇四種混合	266回
	◇インフルエンザ（高齢者）	4,226回
	◇肺炎球菌（高齢者）	741回
	◇日本脳炎	418回
	◇ヒブ	272回
	◇小児用肺炎球菌	269回
	◇水痘	122回
	◇B型肝炎	212回
○任意予防接種の助成	◇B型肝炎	4回

(5) へき地医療対策事業

無医地区住民の医療を確保するため、へき地歯科巡回診療を実施した。

○対象地区：大内・大那地・小砂	18回	延98人
-----------------	-----	------

2 環境衛生

住民の生活環境の整備を図るため、次の事業を実施した。

(1) 廃棄物収集処理対策事業

廃棄物の分別収集とリサイクルに取り組むために、適正な廃棄物収集事業を実施した。

○廃棄物内訳

◇可燃ごみ	3,837 t	※資源ごみ内訳 ・スチール缶 38 t ・アルミ缶 10 t ・ペットボトル 40 t ・びん類 159 t ・紙類 329 t ・布類 97 t
◇不燃ごみ	170 t	
◇資源ごみ	673 t	
◇粗大ごみ	125 t	
◇有害ごみ	8 t	

○搬入内訳

◇委託業者収集搬入	3,778 t
-----------	---------

◇直接搬入 1, 037 t

(2)環境のまちづくり事業

那珂川町環境基本計画後期計画に基づき、環境のまちづくり事業を推進した。

○太陽光発電等設備導入補助

◇太陽光発電	11件	補助額	1,045千円
◇高効率給湯器	46件	補助額	1,740千円
◇木質バイオマス暖房設備	3件	補助額	478千円

○環境教育用小冊子（漫画）配布

◇環境のまちづくり推進会議と町内小中学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校の連携により作成した小冊子を、町内の小学4年生から中学1年生までに配布した。

○環境学習会開催支援 4件 90人

○環境コーナー設置

◇10月：馬頭図書館内	1回
◇12月：役場本庁舎内	1回

○資源ごみ回収支援 5件8回 24,571kg

○牛乳パック資源化運動

◇町内小学校において給食用牛乳パックの資源化を実施 収集量1,069.6kg

◇なかちゃんトイレトペーパー交換（紙パック資源化）

福祉まつり	収集量	17.0kg
生活環境課・小川出張所（通年）	収集量	204.8kg

○生ごみ堆肥化モデル事業

◇市街地区域において生ごみ堆肥化モデル事業を実施

1,325世帯 182,516kg

◇生ごみ堆肥化事業協力者に地域通貨「土の恵」を配布 5,157枚

(3)畜犬対策事業

動物愛護について正しい知識の普及を図るとともに、狂犬病予防法等に基づく登録、予防注射を実施した。

○犬新規登録 54頭

○犬予防注射 709頭

○野犬・不用犬引取り 10頭

(4)浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、浄化槽設置に対し補助を行った。

○浄化槽設置整備補助金 40件 14,890千円

(5)放射能対策

○空間放射線量測定

馬頭図書館及び、小川庁舎において、測定及び結果をHP等に公表した。

○放射線量測定器の貸し出し 0件

○食品の放射性物質簡易検査 8件

3 公園墓地・小川墓地

○公園墓地200区画及び小川墓地25区画の維持管理を行った。

4 環境保全対策

町民が健康で安全な生活を営むため、公害防止対策等の推進に努めた。

(1)河川等の水質検査の実施(25ヶ所、9月及び1月実施)

(2)騒音、悪臭等の防止対策

(3)不法投棄監視員2名が、月10回の巡回監視を行った。

(4)不法投棄物の回収処理を行った。

(5)環境美化県民運動の実施(参加者3,331人)

(6)小型家電リサイクル:町福祉まつりでイベント回収を行った。(回収件数170点)

(7)北沢地区不法投棄物処理対策

最終処分場の理解を深めてもらうための先進地視察に協力した。

○最終処分場先進地視察

◇渋川地区広域圏清掃センターエコ小野上処分場(群馬県渋川市) 2回46名

◇吾妻東部衛生施設組合一般廃棄物最終処分場(群馬県吾妻郡中之条町) 1回18人

5 追悼式・特別弔慰金

(1)戦没者消防殉職者合同追悼式の実施(参加者173名)

(2)第10回特別弔慰金(累計請求受付233件、国債交付219件)

農林水産業費関係

1 農業委員会

農業委員会等に関する法律に基づき、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農家の地位向上に寄与することを目的に事業を行った。

(1)農地法に係る権利の設定・移転・転用等の許認可事務とともに、農業経営基盤強化促進法に基づく利用関係の調整や農地流動化の推進活動を実施した。

○農地法3条（農地の権利移転等）	39件	121筆	18.49ha
○農地法4条（自己農地の転用）	3件	4筆	0.04ha
○農地法5条（転用での権利設定・移転）	37件	50筆	3.27ha
○非農地証明	1件	1筆	0.03ha
○利用集積	224件	654筆	113.74ha

(2) 農地の公的管理主体として、食糧の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図った。また、優良農地を対象に農地パトロール及び利用状況調査を実施した。

(3) 農業者年金のリーフレットを配布するなどして、制度の普及及び加入推進を行い、年金の適正な受給による農業者の老後の生活安定に努めた。

(4) 関係機関と連携し、農業経営の近代化・合理化の基礎となる農業簿記、記帳指導及び農業青色申告制度の普及推進活動を実施した。

2 農業振興事業

農業振興については、中山間地域等直接支払交付事業、多面的機能支払交付事業により地域の振興・環境保全の取り組みや農業担い手の育成など、農地利用の推進事業を行った。

園芸作物の振興を図るため、パイプハウス等の導入支援事業を継続実施した。

定住促進を図るため、いきいき田舎暮らし体験住宅整備事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
中山間地域等直接支払交付事業	農地保全のための共同作業支援 取組組織 63組織	31,010	交付事業 30,925 推進費 85
多面的機能支払交付事業	農用地、水路、農道等の地域資源 保全のための共同活動支援 取組組織 8組織	13,916	交付事業 13,813 推進費 103
農業用生産資材適正処理 推進事業	使用済み農業用ビニール、農薬等 の処理推進	540	総事業費 2,907
園芸作物振興対策事業	園芸作物の施設等導入支援	7,305	総事業費15,295
農産物直売所販売促進事業	農産物直売所における農産物の 安全安心キャンペーンの実施	200	総事業費 263
農作物等獣害被害防止対策事業	電気柵等の導入支援	1,063	総事業費 2,286
農産物モニタリング事業	検査農産物提供者への支援	57	
農業人材力強化総合支援事業	就農者（経営開始型）への支援	5,250	

環境保全型農業直接支援対策事業	生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して支援	1,090	
農地集積・集約化対策事業	農地中間管理機構を利用した集積協力者への支援	3,894	
産地パワーアップ事業	共同乾燥調製施設整備への支援	269,349	事業主体：那須南農業協同組合
いきいき田舎暮らし体験住宅整備事業	定住促進を図るため、体験住宅を建設	12,806	木造平屋建 1棟

3 畜産振興事業

J Aなす南、酪農組合等との連携により高品質の牛肉・生乳の生産を推進した。また、畜産担い手育成総合整備事業を継続実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
畜産振興事業	和牛振興事業、優良乳用後継子牛保留事業、家畜伝染病予防対策事業、畜産団体補助事業、和牛繁殖支援事業、畜産担い手育成総合整備事業、新食肉セクター整備事業	5,950	

4 土地改良事業

農業生産基盤及び農村生活環境基盤整備のため、用排水路及び農道整備事業を実施した。また、県営馬頭中部地区中山間地域総合整備事業を推進した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
町単農村振興事業	町単独農村振興事業費補助金 6件	2,113	
県単農業農村整備事業	坏堰用水路修繕事業 測量一式	1,005	
農業基盤整備促進事業	小砂地区農道整備事業(右岸) 農道舗装 L=1,370.0m 設計一式	37,910	
農地耕作条件改善事業	三輪地区堰改修事業 堰改修一式 測量設計一式	4,557	
基幹水利施設ストックマネジメント事業	西の原用水補修工事	39,738	うち町負担金 4,317
農業集落排水事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	35,558	
県営馬頭中部地区中山間地域総合整備事業	県営馬頭中部地区中山間地域総合整備事業負担金	52,500	

5 イノシシ肉加工事業

イノシシ肉処理加工施設を運営し、獣害の軽減及び特産品生産による地域の活性化を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
イノシシ肉加工事業	受入頭数 295頭	16,355	イノシシ肉販売 収入 10,757
	金属探知機購入 1台	1,307	

6 林業振興事業

とちぎの元気な森づくり事業により、里山の景観保全及び維持管理を行うとともに、八溝産材の需要拡大を促進することにより、地域林業の振興を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
森林整備地域活動支援 交付事業	施業集約化の促進 2協定 20.72ha	600	
	施業集約化に向けた条件整備 2協定 L=200m	800	
とちぎの元気な 森づくり事業	里山林整備 8箇所 56.4ha	6,264	
	里山林管理 31箇所 137.5ha	6,480	
	とちぎの元気な森づくり事業補助金 3箇所 18.4ha	5,970	
	地域の活動の拠点となる公共施設等の木造・木質化	7,500	那珂川町地域 資源活用協同 組合
林道維持管理事業	滝ヶ沢1号線外1 修繕	9,720	
木材需要拡大事業	八溝材使用新築住宅補助 9件	2,133	

○林業施設利用状況

施 設 名	利 用 者 数	備 考
森 林 公 園 特 産 品 生 産 施 設	9 1 1 人	
観 光 乗 馬 施 設 (ホ ー ス ラ ン ド)	4 5 人	
緑 の 交 流 館	1 6 6 人	

7 放射能対策

- イノシシ肉の放射性物質検査を全頭実施した。
- 関係機関とともに農産物、林産物及び水産物における放射性物質の検査を実施した。
- 農産物の安全安心キャンペーンを実施した。

商 工 費 関 係

1 商工業の振興

商工会が中心となって実施したまちづくり事業、商店街活性化事業、商工業振興事業等について支援した。

さらに、中小企業振興策のひとつとして融資制度の利用促進を図った。

(1) 商工会支援

- 那珂川町商工会経営改善普及事業費補助金 1 1 , 4 4 1 千円
- 商工業振興事業費補助金 4 , 9 7 3 千円
- 那珂川町プレミアム商品券発行事業補助金 1 9 , 9 6 4 千円

(2) 中小企業振興資金融資状況

- 新規貸付件数 4 1 件 1 6 9 , 3 8 0 千円
- 信用保証料補助額 4 3 件 4 , 6 9 7 千円

2 観光の振興

那珂川町として、観光協会などの観光関連団体とともに、町内の観光施設の案内、温泉郷・料飲店等の紹介、地元特産品の宣伝及び観光イベントへの参加などに積極的に取り組み、交流人口の増加を推進し、地域の活性化に努めた。

(1) 観光関連団体への補助

- 那珂川町夢まつり実行委員会 3, 123千円
- 那珂川町観光協会 11, 049千円
- 馬頭温泉保護開発協会 900千円

(2) 主な観光施設の利用状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

施設名	利用人数	備考
青少年旅行村（那珂川グリーンヒル）	2, 063人	平成29年1月～12月
町営温泉浴場ゆりがねの湯	68, 029人	
まほろばの湯	107, 082人	
道の駅ばとう	354, 990人	推計値（平成29年1月～12月）
ふるさとの森公園	1, 804人	平成29年1月～12月
まほろばキャンプ場	1, 162人	

3 消費者行政

消費者被害拡大防止のために啓発冊子を作成し、役場や関係機関等の窓口に設置した。また、消費者生活相談を大田原市消費者生活センターへ委託して専門の職員の対応とし、専門窓口が設けられたことのお知らせするチラシ配布も行った。その他にシルバー大学学習会において、消費者被害防止啓発として演劇講演会を開催した。

- 消費生活相談受付件数 51件

4 開発推進

栃木県企業立地促進協議会等を通じ、情報収集に努め、企業訪問など誘致活動を行った。また、既存立地企業のフォローアップを行い、企業の定着促進を行った。

土木費関係

1 道路橋りょう整備事業

道路は、生活の利便性の向上や産業の振興に大きな役割を果たしていることから、地域間の幹線道路や生活道路を整備した。また、都市間を結ぶ主要幹線道路である国・県道の整備を関係機関に要望した。

(単位：千円)

事業種別	路線名等	事業内容等	事業費	備考
改良舗装	76号線	改良舗装工事 L=320.2m W=10.0m 補償一式	69,982	
	和見立野線	改良舗装工事 L=180.0m W=5.0m 補償一式	25,035	
	一渡戸大鳥線	道路改良工事 L=78.5m 用地・補償一式	25,726	
	上郷須賀川線	改良舗装工事 L=120.0m W=7.0m 用地・補償一式	66,238	
	小川運動場線	舗装工事 L=265.8m W=10.0m	25,088	
	小口長峰線	測量設計業務 L=2,000.0m	5,400	
	薬利後沢線	道路詳細設計業務 L=2,330.0m	14,472	
	金谷線	道路詳細設計業務 L=1,060m	2,916	
	都新道線	用地測量業務 L=300m	1,480	
	三川又川崎線	用地調査業務	1,782	
橋梁長寿命化	大松橋	舗装工事 L=154.7m	25,196	
	板山橋	高欄塗装工事	5,756	
	道路施設点検	橋梁点検(124橋) トンネル点検(1門)	40,878	

2 地籍調査事業

那珂川町の土地の実態を正確に把握するため、国土調査法に基づく地籍調査事業(馬頭X地区、大内I・II・III・IV・V地区、谷川VI・VII地区)を実施した。

事業名	事業内容	事業費	備考
地籍調査事業	調査・測量 大内Ⅳ A=0.43k㎡、大内Ⅴ A=0.17k㎡、 谷川Ⅶ A=0.28k㎡ 複製図作成 大内Ⅱ、大内Ⅲ、谷川Ⅳ 数値情報化 馬頭Ⅹ、大内Ⅰ	33,760	

3 公園

町民の身近な交流の場として、施設の維持管理に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容等	事業費	備考
馬頭公園遊具修繕	滑り台修繕等	216	

4 住宅

町営住宅221戸、町有住宅73戸の維持管理を行い、良好な居住環境の整備に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容等	事業費	備考
町営・町有住宅修繕	サン・コーポラス馬頭 給湯器修繕等	11,368	

消防費関係

1 火災の概況

平成29年度中の那珂川町における火災出動件数は8件で、前年度から1件の増であった。

発生日	場所等
4月22日	和見地内林野火災
4月28日	芳井地内林野火災
5月1日	三輪地内その他火災
5月5日	小砂地内その他火災
6月20日	芳井地内建物火災

11月5日	小砂地内建物火災
2月9日	白久地内林野火災
2月20日	和見地内その他火災

2 消防施設の整備

- 消防車両の更新 1台（小型動力ポンプ積載車）
 - ◇第3分団第4部（大山田上郷）
- 1台（ポンプ自動車）
 - ◇第6分団第1部（三輪・神田町・東戸田）
- 防火水槽新築 1基（小砂）

3 消防団点検・訓練関係

（1）点検

- 6月 4日 那珂川町消防団夏季点検 出場率 76.6%
- 10月 1日 那珂川町消防団内点検 出場率 64.0%
- 10月 15日 那珂川町消防団通常点検 出場率 75.7%

（2）訓練

- 4月 23日 教養訓練
- 7月 2日 南那須地区総合水防訓練
- 9月 10日 放水中継訓練

4 防災関係

- （1）防災備蓄品の更新（飲料水、アルファ米、パン） 954千円

（2）水防対策

- 7月 25日 大雨による警戒
- 10月 23日 台風21号による警戒
- 1月 22日 大雪による警戒

（3）地震対策

- 10月 7日 福島県沖地震災害注意体制

5 国民保護関係

- 8月 29日 北朝鮮のミサイル発射による警戒
- 9月 15日 北朝鮮のミサイル発射による警戒

教育費関係

1 学校教育

(1) 小学校・中学校

文部科学省及び県教育委員会の教育施策を踏まえ、未来を担う子どもたちが豊かな情操と道徳性を身につけ、国際的視野を持ち、郷土・社会に貢献しうる実践力と創造性に富む人づくりに努めた。町教育基本方針に基づき、活力に満ちた教育活動を推進し、学びの基盤をつくる確かな学力、心身ともに健康で豊かな人間性を養い、各校の創意工夫のもと積極的に教育の推進を図るとともに、スクールカウンセラー等を配置し教育相談体制の充実を図った。

また、適正規模での児童の健全な教育環境を整備するため、馬頭西小学校の統合に向けて、準備委員会を設置しスムーズな統合ができるよう進めた。

なお、教育環境の充実、教育施設等の整備のため実施した主な事業は次のとおりである。

○スクールカウンセラー等配置事業	2, 798千円
○小学校教育用コンピュータ機器借上	2, 929千円
○中学校教育用コンピュータ機器借上	2, 495千円
○小学校教材備品費	1, 329千円
○中学校教材備品費	2, 078千円
○小学校就学等援助費	4, 291千円
○中学校就学等援助費	3, 420千円
○小学校スクールバス運転業務	35, 173千円
○中学校スクールバス運転業務	12, 416千円
○小学校統廃合準備費補助	508千円
○馬頭東小学校教育振興交付費	4, 701千円
○中学校生徒通学費補助	520千円
○総合学習推進費補助	535千円
○外国語指導助手設置費	10, 757千円
○スクールバス購入費	16, 765千円
○馬頭小学校仮設校舎賃貸（繰越明許）	102, 895千円
○馬頭小学校校舎大規模改修工事設計監理業務（繰越明許）	5, 940千円
○馬頭小学校校舎大規模改修工事(管理棟・普通教室棟)（繰越明許）	276, 305千円
○馬頭東小学校空調設置工事（繰越明許）	22, 388千円

- 小川小学校空調設置工事（繰越明許） 31,547千円
- 小川中学校防球ネット設置工事 5,130千円

(2)通学費等補助

栃木県立馬頭高等学校の生徒の確保と維持存続を図ることを目的に、在学する生徒に対し、通学費等の補助を行ない保護者の負担を軽減した。

- 通学費等補助 7,515千円

(3)学校給食センター

学校給食法の趣旨を踏まえ、学校給食センターの衛生管理に万全を期すとともに、児童生徒の心身の健全発育のため、栄養のバランスに配慮した給食を提供した。

また、学校給食を活用した食育の推進に努めた。

○給食実施状況

- ◇小学校4校、中学校2校、児童生徒職員数1,124人
- ◇完全給食 給食実施回数197回（うち米飯116回）
給食実施総食数 221,428食

○放射性物質検査

- ◇学校給食食材の放射性物質検査

安全で安心な学校給食を提供するため、給食用食材や給食1食（まるごと）について、給食センター（毎週月曜日）所有の多機能放射線測定器により定期的に放射性物質（放射性セシウム）の検査を実施した。

2 社会教育

町民が生涯学習を実践することができるよう学習環境の形成に努めた。

また、生涯学習の観点にたつて社会教育活動を推進し、青少年をはじめ成人、高齢者を対象に各種学級、講座を開催し、学習機会の提供に努めた。実施にあたっては、指導者の養成と社会教育団体の育成を目的に学習活動を展開した。

次に、芸術文化の領域では、町民に活動の機会を提供するなど文化団体の育成と文化の振興に努めた。さらに、町民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、郷土愛の精神を養うために地域の文化遺産に関わる学習の機会を提供した。

(1)生涯学習

- 男女共同参画事業として、講演会を開催した。

- ◇演 題 子育て・孫育て・地域の子育ての昔と今
- ◇講 師 中島 みちる 氏 参加者 31名

○社会教育活動として、「なかがわ町民大学」を実施した。

◇演 題 那珂川町の将来のため 子育て・孫育て・共育て

◇講 師 中島 みちる 氏 参加者 32名

(2) 青少年教育

青少年の社会参加と体験学習を推進するために、中・高校生を対象にリーダーの養成とボランティア活動を推進するとともに、青少年の健全育成に努めた。

○ジュニアボランティアズクラブの育成・指導

○青少年育成協会への支援

○成人式の開催 平成30年1月7日 新成人参加者146人

(3) 家庭教育等

家庭教育学級、幼児教育学級、思春期講座を実施し、家庭教育などの重要性について理解を深めるとともに、家庭での実践を促すために親学習プログラムを実施した。

○家庭教育学級 馬頭小学校・馬頭東小学校・馬頭西小学校・小川小学校
馬頭中学校・小川中学校

○幼児教育学級 なかのこ認定こども園・ひばり認定こども園
わかあゆ認定こども園

○思春期講座 馬頭中学校・小川中学校

(4) 高齢者教育

高齢者を対象に「いきいきシニア教室」を開設し、学習活動を通して心のふれあいと教養を深め、豊かな人生設計を形成するための学習活動を展開した。

○いきいきシニア教室 8回 参加者180人

(5) 公民館活動

歴史学習、自然体験学習、ものづくり体験、小学生向け講座など、幅広い学習の場の提供に努めた。

また、小川公民館の管理運営に努め、地域住民や行政機関、学校、文化団体などによる活動及び交流の場として提供した。

○歴史講座 8回 受講生 35人

○ネイチャークラブ 2回 参加者 30人

○ものづくり教室 6回 参加者 95人

○ハロウィーン英語教室 1回 参加者 63人

○夏休み書道教室 2回 参加者 27人

○親子でものづくり 1回 参加者 18名

○小川公民館 利用件数745件 利用人数10,853人

(6) 国際交流活動

国際社会への対応と国際理解を深めるため、青少年海外体験学習派遣事業、ホースヘッズ村訪問団交流事業、ホームステイウィークエンド in 那珂川の、3事業を実施した。

(7) 芸術文化活動

文化祭の開催や文化団体の育成に努めた。また、馬頭中学校で移動音楽鑑賞教室を実施した。

○文化祭の開催

種 目	期 日	場 所	出展数・参加者数
総 合 展	11月25日・11月26日	総合体育館	686点
児 童 生 徒 作 品 展	11月25日・11月26日	総合体育館	484点
菊 花 展	10月31日～11月5日	南町駐車場	174点
菊 花 盆 裁 展	11月3日～11月5日	あじさいホール周辺	153点
邦 楽 民 謡 舞 踊 祭	11月18日	あじさいホール	48組
歌 謡 祭	平成30年1月21日	馬頭総合福祉センター	7組

○南那須地区音楽祭の開催（担当：那珂川町）

平成29年10月3日 あじさいホール 参加団体数18団体

○移動音楽鑑賞教室の実施

平成29年6月30日 馬頭中学校体育館において「ビバ！ムジカと『よろこびの歌を歌おう』」を実施
馬頭中学校生徒 225名参加

○子どもの森の管理

(8) 文化財保護事業

○文化財保護団体や文化財（技術）伝承者の育成

○文化財国庫補助事業

◇北向田・和見横穴墓群（国史跡唐御所横穴）範囲確認調査

◇横穴墓測量作業（国士舘大学生：50人（42日間）延べ2,100人参加）

○文化財教室の開催

小中高等学校への歴史学習支援のため文化財教室を開催

◇6月22日、7月7日、9月7日、9月14日、9月28日、

10月12日、10月18日

小川中学校第1学年 39名

◇11月8日

馬頭中学校第1学年 60名

◇1月31日	馬頭西小学校第3学年	6名
◇2月23日	小川小学校第3学年	46名
◇2月28日	馬頭東小学校第3学年	10名
◇7月19日	馬頭高等学校	64名

(9)美術館の運営

美術品、資料等の適切な保存を図るとともに他館と連携しながら各種展覧会を実施した。また、調査・研究及び普及等の事業を行い、芸術その他の文化の振興に努めた。

○展覧会

会 期	展 覧 会 名	入館者数(人)
4月1日～4月16日	企画展 徳力富吉郎と広重の富士三十六景	807
4月21日～5月21日	春季特別展 広重と行く東海道の旅(前期)	3,169
5月26日～6月25日	春季特別展 広重と行く東海道の旅(後期)	2,300
7月6日～8月6日	企画展 川村清雄展(前期)	1,872
8月10日～9月10日	企画展 川村清雄展(後期)	2,912
9月15日～10月22日	秋季特別展 大佛次郎と501匹のねこ(前期)	3,720
10月27日～11月26日	秋季特別展 大佛次郎と501匹のねこ(後期)	3,792
12月2日～1月21日	企画展 アートリンクとちぎ 絵画で見る栃木路	1,572
1月26日～3月4日	企画展 郷愁の日本の風景 -巴水と光逸-	2,248
3月14日～3月31日	企画展 浮世絵の植物たち	908
計	特別展2回、企画展5回	23,300

○町民参加型展覧会【視聴覚研修室ギャラリー】

会 期	展 覧 会 名	観覧者数(人)
4月29日～5月5日	絵手紙いろは塾展	538
11月22日～11月25日	ノンフェールガラス工房展	395
3月1日～3月4日	まゆクラフト展	235
計		1,168

○調査研究・教育普及活動

◇講演会の開催	1回	38人参加
◇ミュージアムトークの開催	9回	235人参加
◇ワークショップの開催	4回	37人参加
◇第13回那珂川町児童生徒版画コンクール	応募作品数 : 853点	

(10) 郷土資料館の運営

郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保存し、郷土への理解と意識の高揚を図るため、企画展等を開催した。

○展示会（馬頭郷土資料館）

会 期	展 示 会 名	観覧者数(人)
7月29日～9月3日	第22回企画展 武茂氏と松野氏—ふたつの宇都宮氏—	785

○展示会関連行事

期 日	展 示 会 名	参加者数(人)
7月29日	工作教室 手作りキーホルダーを作ろう！	13
7月30日	記念講演会 中世後期における武茂氏の動向	46
8月10日・8月27日	展示解説	7

○普及啓発活動

- ◇古文書講座 毎週第3水曜日開催 全12回 受講生10人（延べ120人）
- ◇連携事業 南那須特別支援学校による奉仕作業（清掃） 5月23日 30人
- ◇刊行図書 企画展図録（平成27年、平成28年、平成29年）

○年間入館者数 5,850人 開館日数 299日

(11) なす風土記の丘資料館

史跡・資料等の適切な保存を図り、広く町内外の人々に公開するとともに、古代那須の歴史への理解を深め、その学習の場を提供し、文化財愛護思想の普及高揚に役立てるため企画展示、体験活動、普及啓発事業を開催した。

○展示会

会 期	展 覧 会 名	入館者数(人)
9月16日～11月19日	第25回特別展 那須の人々の心とほとけ —古代から中世初期の仏教をたどる—	1,435
12月9日～1月14日	特別陳列 戌を考古学する	329
2月10日～3月31日	巡回展 栃木の遺跡 —最近の発掘調査成果から—	739
計	特別展2回、特別陳列1回	2,503

○展示会関連行事

期 日	行 事 名	参加者数(人)
9月30日	史跡見学会(福島県棚倉町、白河市方面)	35
10月29日	特別展記念 シンポジウム	45
	展示解説(9月17日、10月14日、11月18日)	12
12月9日	古代文字講座	26
	展示解説(12月9日、1月8日)	12
2月24日	成果発表会	45
2月24日	遺跡報告会	37
	展示解説(2月10日、3月3日)	6
計		218

○啓蒙普及活動

◇歴史解説員養成講座	12回	171人
◇なす風土記講座	8回	251人
◇マイチャレンジ(職場体験)	3校	5人
◇来館団体受け入れ	小学校 67校	2,627人
	特別支援学校 1校	30人
	一般団体 28団体	862人
◇体験講座	学校 68校	2,657人
	個人	133人
	団体	210人
		計 3,000人
◇出前講座	町内小中高校 11回	講義2回
		体験講座3回
		640人
◇土器づくり		31人
◇なす風土記ボランティアなす香	研修会1回	25人
◇古代米	種まき69人	稲刈り77人
		計 146人
○年間入館者数	10,015人	開館日数 298日

(12) 図書館

町民の生涯にわたる学習活動の拠点として、図書館資料の充実に努めるとともに図書館活動の推進に努めた。その実施にあたっては、学校、関係機関、ボランティア団体との密接な連携のもとに事業を実施し、町民の豊かな教養、情操を涵養するために積極的な文化、読書活動を展開した。

また効率的かつ効果的な運営を図るため、指定管理者制度導入（平成30年4月1日より実施）に尽力した。

○図書館奉仕業務の充実

○図書館資料(図書・行政資料・逐次刊行物・郷土資料)の収集と充実

◇受入冊数 3, 867冊（うち寄贈1, 745冊）

○視聴覚資料(CD・DVD)の充実

○調査相談業務(レファレンス業務)の実施と充実

○教育・保育機関等への団体貸出の促進

○子ども読書活動の推進

○国立国会図書館、県内図書館等との図書館資料の相互貸借の実施と充実

○「調べ学習」支援を中心とする学社連携体制の促進

○図書館運営及び活動の調査と研究（図書館協議会）

○ボランティア活動（婦人・高校生）の実施と充実

○年間利用状況

◇登録者数 5, 888人

◇入館者数 25, 559人

◇図書貸出冊数 77, 428冊

○文化事業の開催と文化活動の推進

◇お話し会 幼児～小学生対象 64回 425人

◇読書会 全町民対象 24回 162人

◇ブックスタート 乳幼児・保護者対象 6回 136人

◇工作教室 幼児～一般対象 4回 27人

◇親子読書教室 幼児・保護者対象 3回 302人

◇文芸講演会 小学生～一般対象 1回 120人

◇1日子ども司書 小学生～一般対象 2回 14人

3 社会体育

スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活を営み、明朗で連帯感に満ちた町づくりを進めるため、町民ひとり1スポーツを目標に、スポーツ人口の拡大に努め、さらに各種のスポーツ大会、教室、研修講習会等を開催し、スポーツの普及と振興を図った。

(1) 体育施設・夜間照明施設・学校施設(体育施設)の利用状況

施 設 名		利用日数(日)	利用団体数	延利用人数(人)
体 育 施 設	総 合 体 育 館	340	26	16,918
	馬 頭 西 体 育 館	129	14	1,547
	小 川 体 育 館	362	20	13,791
	健 武 体 育 館	42	5	987
	武 茂 体 育 館	6	3	130
	谷 川 体 育 館	16	4	1,131
	大 山 田 体 育 館	66	4	979
	小 川 南 体 育 館	79	8	2,305
	小 川 武 道 館	301	5	2,521
	小 川 弓 道 場	48	1	510
	馬 頭 運 動 場	321	14	14,890
	大 山 田 下 郷 運 動 場	118	3	2,329
	小 川 運 動 場	285	14	10,070
	小 川 南 運 動 場	235	7	3,452
	小 川 庭 球 場	314	5	6,755
	那 珂 川 町 民 プ ー ル	32	-	1,169
	合 計	2,721	133	83,907
(う ち 夜 間 照 明)	馬 頭 運 動 場	205	7	5,305
	大 山 田 下 郷 運 動 場	58	3	1,135
	小 川 運 動 場	204	7	3,424
	小 川 南 運 動 場	250	3	2,562
	小 川 庭 球 場	193	3	3,283
	馬 頭 東 小 運 動 場	85	3	1,039
	合 計	895	26	16,748

学 校 体 育 施 設	馬 頭 小 学 校	校庭	—	—	—
		体育館	73	5	1,359
	馬 頭 東 小 学 校	校庭	87	3	1,067
		体育館	166	3	2,087
	小 川 小 学 校	校庭	—	—	—
		体育館	152	2	2,322
	馬 頭 中 学 校	校庭	—	—	—
		体育館	62	2	471
	小 川 中 学 校	校庭	—	—	—
		体育館	197	2	2,347
	合 計	校庭	87	3	1,067
		体育館	650	14	8,586

(2) 社会体育活動の推進 (各種体育行事の開催状況)

行 事 内 容	回数(回)	日数(日)	参加人数(人)
○町民各種大会及び教室 ・野球 ・ゴルフ ・ゲートボール ・アーチェリー ・バレーボール ・剣道 ・スキー ・ソフトボール ・ソフトバレーボール ・ゆりがねマラソン大会 ・歩け歩け大会	33	70	2,972
○各種地区及び県大会 ・郡市町対抗駅伝競走大会 ・県民スポーツ大会	2	5	120

(3) 体育協会・スポーツクラブ等の育成

町体育協会専門部(18専門部)による自主活動の促進と指導運営体制の強化及び支部(31支部)の地域スポーツ活動の促進を図った。

また、スポーツ少年団(11団)や総合型地域スポーツクラブの活動支援を行った。

○スポーツクラブ(野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、スポーツ少年団等)

◇スポーツクラブ 73団体 1,281人

◇スポーツ少年団 11団体 181人

○総合型地域スポーツクラブ（まほろばの里スポーツクラブ）の育成

◇運営委員会の開催 11回

◇定期教室 ハワイアンダンス、グラウンド・ゴルフ、卓球、3B体操、
ウォーキング、ショートテニス、シニアソフトボール、かんたんストレッチ体操

◇小学生向け教室 ソフトボール、子ども遊び塾、野球、サッカー

◇スポーツ交流会、スポーツセミナー

(4)スポーツの普及活動

○スポーツ傷害保険の加入促進

○生涯学習カレンダーの発行

災害復旧費関係

局地的に発生した集中豪雨により被害を受けた農地及び農業用施設について、災害復旧事業を実施した。

1 農林水産施設災害復旧事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
町単災害復旧事業 (農地・農業用施設)	芳井地区農地復旧ほか11件	1,580	

平成 29 年度主要施策の成果（特別会計）

ケーブルテレビ事業

ケーブルテレビ施設の適正な維持管理を行い、地上デジタル放送などの再放送サービスやCS有料放送サービスのほか、インターネット接続などの情報通信サービスを提供するとともに、自主放送、文字放送により積極的な行政情報等の提供に努めた。

ケーブルテレビ施設の管理運営

○加入者件数	4,678件（77.4%）
◇インターネット接続サービス	1,117件
◇CS有料放送サービス	188件
◇STBレンタルサービス	103件
○再放送サービス	
◇地上デジタル放送	9局
◇衛星BSデジタル放送	9局
◇FMラジオ放送	4局
○CS有料放送サービス	
◇ゴルフネットワーク外	30局
○主な事業	
◇ケーブルテレビ施設指定管理業務	168,480千円
◇ケーブルテレビ機器更新業務	80,157千円
◇新庁舎幹線引込工事	16,902千円
◇伝送路移設工事	31,640千円
○主な自主制作番組	
◇NewsなかがわTOWN	収録92回 放送150時間/月
◇企画番組	55タイトル
◇なかがわTVチョイス	52タイトル
○生中継番組	
◇町議会定例会、臨時会	13日
◇那珂川町夢まつり	1日
◇なかがわ元気フェスタ	2日
◇町議会議員補欠選挙開票速報	1日

○企画番組

- ◇「なかがわ学」発表会
- ◇那珂川町青少年健全育成町民大会
- ◇ハロー元気っ子（各認定こども園）
- ◇小・中学校入学式
- ◇町新規採用職員紹介「はじめまして」総集編
- ◇第15回花の風まつり総集編
- ◇小学校運動会
- ◇中学校体育祭
- ◇いわむらかずお朗読とおはなし会
- ◇第15回花の風まつり（朗読がたり・コンサート）
- ◇ネイチャークラブ「サマーキャンプ」
- ◇烏山高等学校吹奏楽部「第8回定期演奏会」
- ◇みんなで子育てわんぱく広場（隔月収録）
- ◇那珂川町夢まつり
- ◇那須小川まほろば太鼓「第19回定期演奏会」
- ◇ホースヘッズ姉妹都市交流事業
- ◇第3回なす風土記講座
- ◇敬老会総集編
- ◇あじさいホールコンサート「歌う海賊団ッ！」
- ◇第12回南那須地区音楽祭
- ◇認定こども園うんどうかい
- ◇第7回美炎・馬頭琴の調べ
- ◇なす風土記の丘資料館記念シンポジウム
- ◇第九を歌う会「第11回演奏会」
- ◇町長に聞く【特別番組】
- ◇新春の挨拶【特別番組】
- ◇那珂川町文化祭邦楽民謡祭
- ◇那珂川町成人式
- ◇那須小川まほろば太鼓「打ち初め式」
- ◇認定こども園発表会
- ◇町民カラオケ大会「うた那珂カラオケのど自慢」
- ◇中学校立志式
- ◇公民館講座いきいきシニア教室総集編
- ◇小・中学校卒業式

○なかTVチョイス

- ◇工藤慎太郎講演会
- ◇写真撮影教室
- ◇第14回花の風祭り「音楽編」
- ◇那珂川町新庁舎紹介
- ◇第10回笑って健康落語を楽しむ会
- ◇季節の花だより（春・夏・秋・冬）
- ◇第15回花の風まつり（コンサート・お話し会・イベント）
- ◇第7回森のアートフェスタ in サンタヒルズ（コンサート）
- ◇まほろばがたり「花えみのつどい」
- ◇よろこびの森からのおくりもの
- ◇道の駅ばとうイベント（コンサート・ハワイアン）
- ◇第7回 美炎・馬頭琴の調べ ～開演に向けて～
- ◇小砂里山農業体験「棚田オーナークラブ」総集編
- ◇第12回小砂焼野焼祭「音楽編」
- ◇子どもまち記者講座
- ◇JCC三人娘が行く
- ◇なかがわ元気フェスタ2017
- ◇第27回栃木県中学校英語スピーチコンテスト
- ◇第14回広重紅葉まつり（コンサート）
- ◇森のアートフェスタウィンターセレクション2017（コンサート）
- ◇商工祭暮れ市イベント（コンサート）
- ◇那珂川町文化協会音楽部合同コンサート

○特別企画番組

- ◇ニュースダイジェスト（上半期、下半期）

○その他の番組

- ◇県政番組
- ◇サイエンスチャンネル
- ◇那珂川町でのゴミの分別（生活環境課）
- ◇イノシン肉PR放送（農林振興課）
- ◇住宅用火災警報器広報（消防本部）
- ◇日本赤十字社広報（社会福祉協議会）
- ◇あっ！美味しいプロジェクト進行中（農林振興課）
- ◇全国火災予防運動広報（消防本部）
- ◇ツール・ド・とちぎ広報（生涯学習課）

9タイトル

○文字放送	
◇文字放送（無料）	2 1 7 件
○広告放送	
◇文字放送（有料）	2 2 件
◇年賀放送（有料）	2 件
◇映像放送（有料）	4 件

国民健康保険事業

1 療養の給付等

療養諸費費用額負担の状況は、次のとおりである。（単位：千円）

区分	項目	件数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
一般被保険者	療養の給付	75,194	1,734,698	1,245,111	453,268	36,319
	療養費	2,011	16,013	11,519	4,329	166
	計	77,205	1,750,711	1,256,630	457,597	36,485
退職被保険者等	療養の給付	1,414	20,661	14,445	6,164	53
	療養費	36	283	198	85	-
	計	1,450	20,944	14,643	6,249	53
合計		78,655	1,771,655	1,271,273	463,846	36,538

2 その他の給付状況

被保険者の出産、死亡及び高額療養費に対して、次のとおり支給した。

○出産育児一時金	9 件	3, 7 8 0 千円
○葬祭費	3 0 件	1, 5 0 0 千円
○高額療養費	2, 5 2 1 件	1 9 8, 6 5 3 千円
◇一般	2, 4 8 1 件	1 9 7, 3 0 5 千円
◇退職	4 0 件	1, 3 4 8 千円
◇一般被保険者高額介護合算	4 件	2 5 2 千円

3 国保世帯数、被保険者の状況

○平均世帯数	2, 9 0 0 世帯
○平均被保険者数	5, 2 2 2 人

4 保健事業関係

被保険者の健康保持増進と医療費適正化対策の状況は、次のとおりである。

○特定健診(40歳以上)	1, 514人
○特定保健指導	184人
○医療費通知	延べ9, 614通(4回実施)
○ジェネリック医薬品差額通知	323通(2回実施)
○人間(脳)ドック(35歳以上)	365人

後期高齢者医療事業

高齢者の適切な医療費の確保を図るため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療給付を実施した。

○栃木県後期高齢者医療広域連合納付金	181, 860千円
○ 〃 負担金(一般会計分)	8, 616千円
○医療給付費負担金(一般会計分)	175, 528千円
○平均被保険者数	3, 253人
○健康診査受診者	医療機関健診 892人 集団健診 502人

介護保険事業

第6期介護保険事業計画(H27～H29年度)により、介護保険事業の更なる充実に努めた。

本町における介護保険制度の円滑な実施を図るため、第7期介護保険事業計画(H30～H32年度)を策定した。

1 被保険者の状況

65歳以上の第1号被保険者は、平成29年度末現在6, 082人であった。

2 認定申請及び認定の状況

被保険者からの認定申請は、1, 039件であり、これらを調査したのち、認定審査会にて審議され認定した。なお、平成29年度末の認定者数は1, 004人であり、詳細は次のとおりである。

○要介護(要支援)認定者数(平成29年度末)

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
1号被保険者	38	35	266	217	187	151	83	977
2号被保険者	—	2	7	9	4	4	1	27
計	38	37	273	226	191	155	84	1,004

3 利用及び給付状況

介護サービスの利用件数及び給付費について、その主な内訳は次のとおりである。

介護予防給付のうち訪問介護・通所介護について介護保険制度の地域支援事業「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」に順次移行した。

○居宅介護サービス給付費	12,003件	581,650千円
○地域密着型居宅介護サービス給付費	2,051件	292,357千円
○施設介護サービス給付費	2,629件	642,554千円
◇介護老人福祉施設	2,077件	493,438千円
◇介護老人保健施設	473件	121,542千円
◇介護療養型医療施設	79件	27,574千円
○居宅介護福祉用具購入費	63件	1,605千円
○居宅介護住宅改修費	28件	3,518千円
○居宅介護サービス計画給付費	6,516件	82,129千円
○介護予防サービス給付費	675件	13,323千円
○地域密着型介護予防サービス給付費	23件	1,157千円
○介護予防福祉用具購入費	9件	190千円
○介護予防住宅改修費	3件	280千円
○介護予防サービス計画給付費	880件	2,548千円
○高額介護サービス費	3,511件	32,272千円
○高額医療合算介護サービス費	165件	4,232千円
○特定入所者介護サービス給付費	2,468件	103,332千円

4 地域支援事業

介護保険制度の改正により、要支援・要介護状態になる前からの介護予防を行い、また、介護が必要な状態となってもできる限り自立した日常生活を営むことができるように、以下の事業を実施した。

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

○介護予防・生活支援サービス事業

平成29年度から特定高齢者を対象とした介護予防事業から事業対象者（基本チェックリスト該当者）、要支援1～2を対象とした介護予防・日常生活支援総合事業に順次移行し以下のとおり事業を実施した。（要介護認定者以外の事業対象者は77人）

◇訪問現行相当サービス	118件	1,541千円
◇訪問A（緩和したサービス）	8件	27千円
◇通所現行相当サービス	256件	6,733千円
◇通所C（短期集中型）	30人	1,747千円
◇生活支援サービス（配食サービス）	24人	585千円
◇介護予防ケアマネジメント	延977件（内委託238件）	委託料：580千円

○一般介護予防事業

一般高齢者を対象として、運動指導士や介護予防ボランティアによる運動を中心とした介護予防教室を実施した。また、高齢者の介護予防と地域づくりに貢献する介護予防ボランティアの育成を行った。

◇転ばん運動教室	24回	404人
◇運動好っぺ会	24回	362人
◇那珂川おたっしゃ会	64回	709人
◇新規介護予防ボランティア研修会	2回	12人
◇サロン運営ボランティア養成講座	6回	62人
◇介護予防ボランティア運動指導実践	37回	170人

(2) 包括的支援事業

○総合相談事業

把握された閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある高齢者を対象に、社会福祉士・保健師等による相談、指導や精神保健福祉士による相談会を実施した。

◇介護相談件数		320件
◇物忘れ相談	10回	13人

○権利擁護事業

3件

○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

◇地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの活動状況の実績報告及び次年度活動予定の承認を得た。

開催日：平成30年3月22日

◇事例検討会の開催

介護支援専門員への助言、指導と処遇困難事例のケース検討会の開催を実施した。

実11人（延62人）

○在宅医療・介護連携推進事業（南那須医師会の一部委託）

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるように、医療関係者と介護事業等の関係者の連携を推進した。

◇多職種連携会議・全体研修会・講演会等 19回

○生活支援体制整備事業

◇生活支援コーディネーター業務（那珂川町社会福祉協議会に委託）

高齢者が活動する場の確保、不足するサービスの開発等基盤整備に向けた取り組みを実施した。

◇生活支援協議体会議 1回 24人

◇介護事業者部会 3回 60人

◇ケアマネジメント部会 5回 70人

○地域ケア会議推進事業

◇地域ケア会議 2回

(3) 任意事業

○家族介護支援事業

◇家族介護者交流会 7回 40人

◇紙おむつ購入費用助成事業 683件 7,027千円

○認知症サポーター養成講座 1回 60人

○配食サービス（生活支援サービスの対象者は除く）34人 652千円

下水道事業

公共用水域の水質保全と健康で快適な生活環境の確保のため、下水道整備の実施及び施設の維持管理に努めた。概要については、次のとおりである。

(1) 整備事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
公共下水道事業	管路施設耐震補強工事	18,738	
	公共ます設置工事4箇所	1,293	

(2) 施設管理の状況

項 目	単位	馬 頭 処 理 区	小 川 処 理 区
処 理 区 域 面 積	ha	1 0 5	8 4
処 理 区 内 人 口	人	1, 6 9 9	2, 6 3 7
水 洗 化 人 口	人	8 8 6	2, 2 7 4
水 洗 化 率	%	5 2. 1	8 6. 2
処 理 区 域 内 戸 数	戸	9 1 9	1, 0 0 6
水 洗 化 戸 数	戸	4 3 6	8 8 2
年 間 処 理 水 量	m ³	1 2 4, 7 4 4	2 8 0, 7 4 3
1 日 平 均 処 理 水 量	m ³	3 4 2	7 6 9

農 業 集 落 排 水 事 業

農業用水の水質保全、生活環境の改善を図るため、施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

項 目	単位	北 向 田 地 区	三 輪 地 区
処 理 区 域 面 積	ha	3 3. 0	1 6. 3
処 理 区 内 人 口	人	4 0 6	3 2 0
水 洗 化 人 口	人	3 9 5	3 0 1
水 洗 化 率	%	9 7. 3	9 4. 1
処 理 区 域 内 戸 数	戸	1 5 1	1 1 5
水 洗 化 戸 数	戸	1 4 0	1 0 1
年 間 処 理 水 量	m ³	7 1, 7 5 4	2 9, 0 1 8
1 日 平 均 処 理 水 量	m ³	1 9 7	8 0